

平成17年度財務状況

広島高速道路公社の経理方法

広島高速道路公社では、財政状態及び経営成績を明らかにするため、企業会計に準じた経理処理（発生主義、複式簿記）を行っていますが、道路資産については、料金収入等で道路資産に投資した額を償還するという事業の特徴から、その償還状況をより明確に把握できる償還準備金積立方式をとっており、企業会計において一般的に採用されている減価償却方式はとっていません。

償還準備金とは、営業中の道路から生じる毎事業年度の収支差（収益と費用の差）を積み立てたものですが、これは、道路資産に投資した借入金の償還（建設費の償還）に充当されます。したがって、民間企業という利益（黒字）とは性格が異なります。

財務諸表では、営業中の道路から生じる毎事業年度の収支差を「償還準備金繰入」として損益計算書に費用計上し、その累計額を「償還準備金」として貸借対照表に表示することにより、道路の建設費の償還状況がわかる仕組みとなっています。

平成17年度決算における償還状況については、営業中の高速道路の総資産額（要償還額）約970億円に対し、償還準備金は平成17年度末で約121億円（消費税還付金の累計額である償還準備積立金を含む。）となっています。

資産の部		
勘定科目	説明	金額
		億 万円
流動資産	現金・預金及び県・市等からの未収金	141 4291
固定資産		2233 6693
事業資産		
道路	営業中の道路への投資額	(970 0733)
事業資産建設仮勘定		
道路建設仮勘定	建設中の道路への投資額	(1258 1895)
有形固定資産	建物・車両・備品等の減価償却後の額	(5 0001)
その他	敷金・電話加入権等	(4064)
繰延資産	調査費等の額	2 9709
資産合計		2378 0693

負債及び資本の部		
勘定科目	説明	金額
		億 万円
流動負債	未払金等	151 1065
固定負債	国・県・市等からの借入金の残高等	1613 9062
特別法上の引当金等		120 6956
償還準備金	供用区間の収支差の累計額	(77 6575)
償還準備積立金	消費税還付金の累計額	(43 0381)
基本金	県・市出資金の受入累計額	491 1800
剰余金	負担金等の受入累計額	1 1810
負債及び資本合計		2378 0693

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

費用の部		
勘定科目	説明	金額
		億 万円
経常費用		
事業資産管理費		
道路管理費	営業中の道路の維持、修繕、管理の費用	9 2183
一般管理費		1 2282
一般管理費	営業中の道路の管理に係る人件費等	(9688)
その他	車両・備品等の減価償却費等	(2594)
引当金等繰入		18 2011
償還準備金繰入	収益と費用の差額	(15 9045)
償還準備積立金繰入	消費税還付金	(2 2966)
受託業務費		
受託業務費	広島市等からの受託業務に要する費用	1 3764
業務外費用	借入金の支払利息等で、営業中の道路にかかるもの	7 3449
当期利益金	償還準備金対象分でない給与・手当戻入等	17
合計		37 3706

収益の部		
勘定科目	説明	金額
		億 万円
経常収益		
業務収入		33 6686
道路料金収入	道路の通行料金収入	(33 4397)
その他	道路占用料等の収入	(2289)
受託業務収入		
受託業務収入	広島市等からの受託業務に係る収入	1 3764
業務外収益	消費税還付金、受取利息等の収入	2 3256
合計		37 3706

●平成17年度の通行台数

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

区分	通行台数(台)	
	年 間	1日当り
高速1号線	4,376,711	11,991
高速3号線	2,328,095	6,378
高速4号線	5,117,920	14,022
計	11,822,726	32,391